

〔薬局調剤〕

8 調剤行為の状況

薬局調剤の1件当たり点数は1,065.3点で、前年と比べ5.3点、0.5%減少している。

受付1回当たり点数は889.9点で、前年と比べ19.8点、2.2%減少している。調剤行為別にみると、「薬剤料」637.5点(構成割合71.6%)が最も高く、次いで「調剤技術料」128.6点(同14.5%)となっている。

1件当たり受付回数は1.20回で、前年と比べ0.02回増加している。(表10、図11)

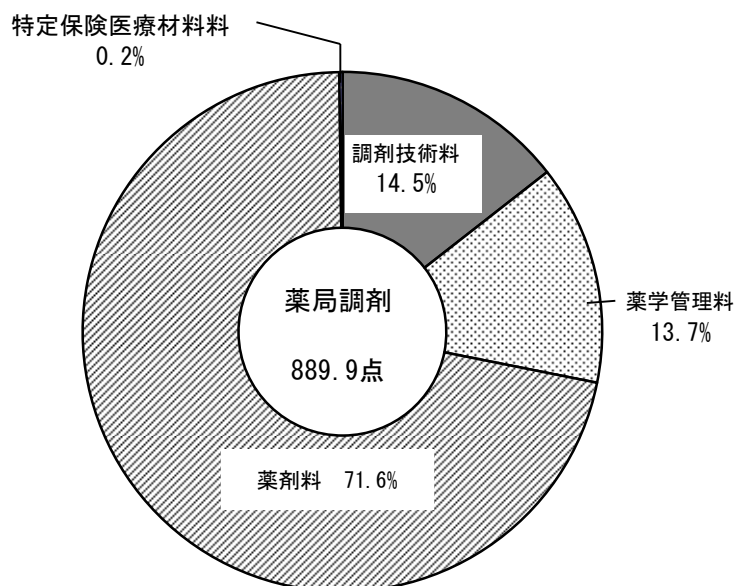
表10 調剤行為別にみた1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

(各年6月審査分)

調 剤 行 為	令和5年 (2023)	令和4年 (2022)	対 前 年	
			増減点数	増減率(%)
1 件 当 た り 点 数				
総 数	1 065.3	1 070.5	△ 5.3	△ 0.5
調 剤 技 術 料	154.0	149.0	5.0	3.4
薬 学 管 理 料	145.9	145.4	0.5	0.3
薬 剤 料	763.1	773.6	△ 10.5	△ 1.4
特 定 保 険 医 療 材 料 料	2.1	2.4	△ 0.3	△ 12.1
受 付 1 回 当 た り 点 数				
総 数	889.9	909.7	△ 19.8	△ 2.2
調 剤 技 術 料	128.6	126.6	2.1	1.6
薬 学 管 理 料	121.8	123.5	△ 1.7	△ 1.4
薬 剤 料	637.5	657.5	△ 19.9	△ 3.0
特 定 保 険 医 療 材 料 料	1.8	2.0	△ 0.3	△ 13.6
1 件 当 た り 受 付 回 数				
	1.20	1.18	0.02	

図11 調剤行為別にみた受付1回当たり点数の構成割合

(令和5年6月審査分)



### 9 一般医療 - 後期医療・年齢階級別にみた調剤行為の状況

薬局調剤の1件当たり点数は、一般医療が966.8点で、前年と比べ0.8%低下、後期医療が1,299.8点で、前年と比べ0.8%上昇している。

受付1回当たり点数は、一般医療が821.3点で、前年と比べ2.8%低下、後期医療が1,044.5点で、前年と比べ0.4%低下している。年齢階級別にみると、階級が高くなるにつれて受付1回当たり点数が高くなっている。

1件当たり受付回数は、一般医療1.18回、後期医療1.24回となっている。(表11、図12)

表11 一般医療 - 後期医療・年齢階級別にみた調剤行為別1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

調剤行為	一般医療	後期医療	対前年増減率(%)		年齢階級					
			一般医療	後期医療	0~14歳	15~39歳	40~64歳	65~74歳	75歳以上	
			1件当たり点数							
総数	966.8	1 299.8	△ 0.8	0.8	577.6	827.8	1 087.6	1 185.8	1 287.5	
調剤技術料	149.8	164.0	4.2	1.9	187.5	145.0	141.0	141.4	163.4	
薬学管理料	129.5	184.9	0.0	1.6	103.3	111.9	138.0	150.1	184.2	
薬剤料	685.6	947.9	△ 2.0	0.4	286.5	569.9	805.8	891.2	937.1	
特定保険医療材料料	1.9	2.5	△ 14.8	△ 6.4	0.3	0.9	2.7	3.0	2.3	
受付1回当たり点数										
総数	821.3	1 044.5	△ 2.8	△ 0.4	443.0	719.8	947.7	1 022.1	1 037.6	
調剤技術料	127.2	131.8	2.1	0.8	143.8	126.1	122.9	121.9	131.7	
薬学管理料	110.0	148.6	△ 2.0	0.5	79.2	97.3	120.2	129.3	148.5	
薬剤料	582.4	761.7	△ 4.0	△ 0.7	219.7	495.6	702.2	768.2	755.3	
特定保険医療材料料	1.6	2.0	△ 16.5	△ 7.4	0.3	0.8	2.3	2.6	1.8	
1件当たり受付回数										
	1.18	1.24	2.1	1.1	1.30	1.15	1.15	1.16	1.24	

図12 年齢階級別にみた調剤行為別受付1回当たり点数

(令和5年6月審査分)

